

過疎地域の現状と 再生策に関する 国際比較

International Comparison of Depopulated Rural Areas in East Asian Countries and its Regeneration Policies

—東アジアの状況を軸に—

入場
無料

日時 2014年
12/20 土 13:30~16:50
(開場13:00)

会場 **金沢市文化ホール 大会議室**
金沢市高岡町15番1号

●定員 80名 ●同時通訳あり



過疎問題は、日本のみならず地域間の不均等発展の大きな東アジア諸国に共通する深刻な問題となっています。このシンポジウムは、韓国・タイ・日本における過疎地域問題の現状と対策に関する比較を通じて、この問題の背景にあるマクロ経済的構造や地域社会の変容をめぐる共通点・相違点を明らかにするとともに、各国における過疎対策の現況を交流することを目的としています。それぞれの国の社会・経済・文化的背景・現状を含めて過疎問題とその振興策についての共通点と特異点を明らかにしていくことによって、我が国における過疎地域の問題に関して新たな知見と発想を得ることができればと考え、このシンポジウムを企画しました。どなたでも自由にご参加ください。

◆ 講演

- 1 「韓国の過疎地域政策の変化と課題」
Changing Korea's Policy for Depopulated Areas and Future Tasks
Lee Chul Woo (リー・ Chol・ウー) 氏
(韓国慶北大学校地域開発研究所所長、同大学校社会科学大学地理学教授)
- 2 「タイにおける地域格差と地域開発政策～長期の経済発展分析を踏まえて～」
Regional Discrepancies and Rural Development Policies in Thailand
: A Long-term Economic Development Analysis
Kiti Limskul (キティ・リムスカル) 氏
(元タイ国教育省副大臣、元チュラロンコン大学経済学部准教授)
- 3 「現代日本における過疎問題と都市-農村関係の再構築」
The Depopulation Problem and Urban-rural Linkages in Contemporary Japan
佐無田 光 (金沢大学教授、同地域政策研究センター長)

◆ パネルディスカッション

コーディネータ 神谷 浩夫 (金沢大学教授)